

## 第4回光市立学校の将来の在り方検討会議 会議録

### 1 開催日時

平成29年5月11日（木）午後6時00分～午後7時40分

### 2 開催場所

市教育委員会1階ホール

### 3 出席者

#### (1) 委員

山口大学教育学部	教授	霜川 正幸
光市社会福祉協議会	会長	西川 公博
光市母子寡婦福祉連合会	会長	中村 恵美子
光市肢体不自由児（者）父母の会	会長	中原 健次
光市小中学校PTA連合会	役員	橋本 正美
幼稚園保護者		堤 由紀子
東光保育園	園長	渡邊 正善
公募委員		梅山 健史
浅江小学校学校運営協議会	委員	上原 廣見
島田中学校学校運営協議会	委員	栗本 雅文
大和中学校学校運営協議会	委員	廣政 晴美
光市立小学校校長会	会長	酒井 宏高
光市立中学校校長会	会長	伊藤 幸子

#### (2) 事務局

能美教育長、蔵下教育部長、和田学校教育課長、奥屋学校教育課主幹、太田教育総務課長、川村教育総務課管理係長、村上光市教育開発研究所主任研究員

#### 4 次 第

##### (1) 開 会

##### (2) 会長あいさつ

##### (3) 議 事

ア 「(仮称)光市立学校の将来の在り方に係る基本構想」(案)について

(ア) 基本構想の全体像(骨子)の説明

(イ) 意見交換

イ 第5回会議の日程及び第5回会議以降の進め方

##### (4) その他

##### (5) 閉 会

#### 5 議事録(要旨)

##### (1) 開 会

##### (2) 会長あいさつ

本日は、会議にお集まりいただいたことを感謝したい。短時間ではあるが、充実した会議にしたいと思う。

先日、山口市内のある学校に入ると「明日も会おうね、温かい学校」と書かれた幕があった。先生方から子どもたちへの呼びかけたものであろうと思い、先生に確認すると、最初はそうした意図であったが、この頃は子どもたちの方から呼び掛けているようで、その相手も子どものたち同士だけでなく、教職員、保護者、地域の人にも呼び掛けている。声を掛けてもらった側からも喜んでもらっているとのことであった。学校というものが地域コミュニティの中でどういった位置にあるかということを考えさせられた。

本日も、光市の学校の在り方を考えていくことになるが、皆さんもしっかり夢を描きながらさまざまな意見を出していただきたい。

##### (3) 議 事

###### 【会 長】

本日の議事は、(1)「(仮称)光市立学校の将来の在り方に係る基本構想」(案)について、ア基本構想の全体像・骨子の説明、イ意見交換、(2)第5回会議の日程及び第5回会議以降の進め方についてである。前回までは、平成28年3月に光市立学校の将来の在り方検討プロジェクトが策定した「光市立学校の将来の在り方について～基本的な考え方～」の理解を深めたが、今回の会議からは、本会議の目的である「基本構想」策定に向けて進めていく。

まず、本日の資料について事務局の説明を受け、その後で、皆さんからの意見をいただきたい。

【事務局】

事務局から第1章から第3章まで資料に沿って説明

【会 長】

事務局に確認するが、今回の構想（案）は、全体のおおよその構造を示したものと理解してよいか。

【事務局】

ご指摘のとおりである。

【会 長】

この基本構想は、市民に向けて発信されるものであり、市民の方にわかりやすくまた、正しく理解してもらうことが大切である。委員の皆さんにはそうした視点から意見をいただきたい。

【委 員】

人口減少について、グラフだけではわからないので、景気の低迷や少子化、高校卒業後の市外への転出などの原因も書いた方が、わかりやすいのではないか。

【委 員】

例えば第1章の2の3に施設の課題が記載されているが、課題だけでなく、その課題に対する対応案が必要ではないか。

【委 員】

学校施設の現状の項目では、子どもたちの学力や体力などの実態を入れた方がよい。また、全体の構成がアンバランスなので、バランスよくまとめる必要がある。

【会 長】

委員の意見について、事務局の意見を伺いたい。

【事務局】

ご指摘を踏まえ、記載の内容や全体の構成を再度検討していきたいと思う。

【会 長】

内容を含めて、全体の項立てについて何か意見があるか。

【委 員】

人口や児童生徒の推移だけでは、未来が暗いように見えるため、人口減少に対する光市の取組みを提示したらどうか。また次世代型コミュニティ・スクールとは、どういうものを指しているのか教えてほしい。

【会 長】

次世代型コミュニティ・スクールについては4章で事務局に説明頂く。

【委 員】

学校の将来の在り方とは、何年後の姿を想定したものなのか。

【事務局】

光市では最上位の計画として第2次総合計画を策定しており、これは20年後を

想定したものであり、本構想も具体的な記載はないが、概ね20年後を見据えた構想である。

【会 長】

他に意見が無いようなので、事務局に第4、5章の説明をお願いしたい。

【事務局】

事務局から第4、5章を資料に沿って説明

【会 長】

第4章、第5章で意見をお願いしたい。

【委 員】

適正規模・適正配置とあるが、視察へ行く予定はあるか。

【事務局】

小中一貫教育を含めて適正規模・適正配置が進められた地域の視察はしている。

【委 員】

この検討会は、教育のことにのみを検討するのか。教育も社会の流れの一つなのだから、例えば、福祉の充実による出生率の向上などの施策を検討していかないのか。

【会 長】

今の学校教育は、学校だけにとどまるものではなく、福祉や地域づくりなどとも関連するが、本会議は基本的には学校教育がメインであり、そのための学校の姿をどう位置づけるか検討するものである。

【委 員】

第4章は2番の方を先に記載するのがよいと思う。昨年度末に光市から出された光市教育大綱がある。この大綱の教育理念が「連携と協働で育む光の教育」で、その教育目標は「夢と希望にあふれ未来へ輝く光っ子の育成」である。光っ子は知・徳・体の調和がとれ、人とつながりながら社会を生き抜く人であり、そうした人を育てるためにも、学校の適正規模・適正配置がやはり必要だという構成がよいのではないか。

【委 員】

一貫教育とあるが小・中学校を想定していると考えてよいのか。高等学校との一貫も考えられるのではないか。また小中一貫教育の将来像や効果、一体型学校との関連など不明な点がある。

【事務局】

高校との一貫教育については、県知事の報告にもあるが、高校生の県外転出、郷土愛を育む教育、県内就職の問題などは県教育委員会の方で検討している。

【委 員】

本構想は20年後を想定しているが、20年後のことを討論しても意味がない。たとえば、19ページに学校づくりの視点が三つあるが、短期的な目標や優先順位

を付けた構成にしてほしいと思う。

**【会 長】**

学校づくりの視点に、優先順位的なものはないと思われる。それぞれ「学び」と「育ち」のそれぞれの内容の問題を地域コミュニティの中でどう捉えるか。これらを連動させながら行っていくものであると思う。

**【事務局】**

ここで示している三つの視点は、同時進行するものではないが、相互に関連するものであり、この三つの要素が重なり合った学校像を創ることを想定している。

**【会 長】**

見通しが持ちにくい構想をどのように構築していくかという問題であるが、まずはある程度のビジョンを描き、子どもたちのことを主体に考慮しながら、それを実現するための方策を探る必要があると思われる。

**【委 員】**

第5章について、いきなり光市が目指す小中一貫型学校とあるため違和感がある。まず(2)の地域とともにある学校づくりを記載し、次に(1)(3)と続くのがよいのではないか。

**【会 長】**

全体を通して感想や意見をいただいたが、今日の段階ではここで終了したいと思う。第1章から第5章まで意見があればお願いしたい。

**【委 員】**

小中一貫になれば、通学距離が長くなるので保護者は心配すると思われる。その点についての記載が必要と思う。

**【委 員】**

子どもの貧困問題への支援についての記載が必要ではないか。

**【委 員】**

目指す学校像だけでなく、子どもたちがどう地域と関っていくのかの記載が必要と思う。

**【委 員】**

将来の人口減少に対する対応策を少しは入れる必要がある。また基本構想の後に具体的な計画ということであれば、その計画についての今後の工程の見通しを説明していただきたい。

**【事務局】**

現在具体的な計画はないが、いずれ地域の実情等を考慮した学校を創っていくとなると、この基本構想を基とした基本計画を策定する必要があると考えている。

**【委員】**

第5章がメインになると思う、小中一貫型学校を目指すとなったときにその理由を丁寧に描く必要がある。また、なぜ一体型小中一貫型学校を目指すかというのは資料2にある13ページ、14ページにある第5章の資料が根拠になると思う。また、子どもの「学び」を第一におくと、これが優先順位の一つであるということ、ぜひ書いていく必要がある。施設を整備するにあたっては、防災拠点、福祉、郷土愛、環境、地域などの視点から考えていくとよいと思う。

**【委員】**

子どもたちのためにはやはり施設の改善をしなければいけないと思う。また一貫教育については小中一貫に限らず中高一貫があってもよいのではないかと思う。

**【委員】**

資料2の12ページの耐久性の問題で建築年月が気になる。私は大和中出身だが、室積小学校など古い学校も多くあり、トイレの洋式化なども早く進めてほしいが、後回しになるのではないかと心配である。また、大和地域の小学校は修学旅行以外、学校単位で行っていると思うが、人数の問題を考えるといろいろと難しい点もあり、そういう意味で20年後まで待てない。

**【委員】**

建物だが、教育の方針も3カ年計画等を立てて進めてほしい。そして、その計画で実現できるメリットを、分かりやすいようにまとめてほしい。

**【委員】**

私は大和町出身で周防在住だが、大和地域も周防地域も子どもは少ないので20年後の姿がどのようになるのか、一体型となったとき通学路もどうなるかなどが心配である。学校運営にはシニアの方にボランティアで協力いただいております、20年後の学校の姿を考えると、色々と思うところである。

**【委員】**

適正規模・適正配置に基づく学校教育を進めることや、小中一貫型の学校を創るというのはわかったが、それぞれの具体的なメリットを記載すればよりわかりやすいのではと思う。

**【副会長】**

この構想では、目指す子ども像、目指す学校像の二つが基本構想の中心となると思う。人口減少や少子化にも触れてあるが、それが目指すべき教育の姿とうまく結び付いていないのではないか。第3章から第4章、第5章については内容が薄いと思う。第3章、第4章があって、最後に光市が目指す学校像は小中一貫、また一体型という結論で結んでいる。これから光市の担い手になる子どもたちだが、今担い手になっているのは70代シニアの方が中心であり、将来担い手がいるのかとても心配に思う。

【会 長】

いただいた意見を次回の会議に反映したいと思う。

それでは、最後に次回以降の会議の進め方について事務局からお願いしたい。

(4) その他

【事務局】

5月、8月、10月と3回でとりまとめていきたい。本日は骨子を提示したが、次回は皆さんの意見を参考にさせていただき、文章化した構想案を提示したいと思う。

【会 長】

他に意見はないようなので、本日の議事は終了する。

【事務局】

次回の会議は、平成29年8月23日（水）18時を予定している。

(5) 閉会（19：40）